

開催趣旨

「建設技術展2025近畿」は、民間企業が開発した新技術・新工法を展示・紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化やより広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の各工事への積極的な活用を促すことを目的とするものです。

そのキーワードは

- ① 民間分野における建設事業に関連した技術開発への取り組みを紹介
- ② 新しく開発された技術の育成と普及
- ③ 技術開発に向けた建設技術者の意識の高揚
- ④ 発注者のニーズを広報し、新技術の開発・普及につなげる

技術展の開催を通じて、ハード・ソフト両面での社会基盤整備に関連した技術の役割や意義を発信していくとともに、発注者ならびに建設コンサルタント、ゼネコン、資材業者など幅広い方々へPRしていくことで、建設産業の一層の発展に寄与していきたいと考えています。

また、近年より各出展者から要望の多い新たな技術分野として「維持・更新」を設け、本格的なインフラの維持管理・大量更新を迎えた建設業界へ情報も発信しています。さらに、国土交通省が推進するi-Constructionを視野に、「DX・ICT」分野ではICT技術を、「施工」分野では「規格の標準化」に関する技術も紹介しています。



近畿地方整備局長
齋藤 博之 氏

近畿建設協会
谷本 光司 理事長

土木学会 関西支部長
尾花 英次郎 氏



来場者数

10/30 [木]
10/31 [金]
延べ**17,535**人

技術出展

技術分野	出展者数	ブース数
防災	32	33
環境	11	11
コスト削減	3	3
安全・安心	29	47
施工	40	46
維持・更新	55	61
DX・ICT	52	61
団体	7	10
学校	10	10
合計	239	282

開催イベント

関西ライフライン研究会 地震防災フォーラム

「南海トラフ地震に備えて
-阪神・淡路大震災から30年、
大阪府の地震防災最前線-」

10/30 [木] 10:45-12:15



遠藤 淳氏

遠藤 淳氏(大阪府 危機管理室 防災企画課 参事)が基調講演を行い、新・大阪府地震防災アクションプランを説明。パネルディスカッションでは、歙田 泰子氏(神戸大学大学院 工学研究科 教授)をコーディネーターに、遠藤氏と奥村 与志弘氏(関西大学 社会安全学部 教授)が阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた災害対応力強化策を議論しました。



NPO法人あすの夢土木 今、バズる 土木動画コンテスト 発表会・表彰式

～土木の魅力を再発信～

10/30 [木] 15:30-17:00

社会インフラの重要性や土木の魅力を広く伝えるために実施した動画コンテストに応募した22点の中から審査委員会で選ばれた5作品を発表。来場者投票を経て最優秀賞他各賞を選び、表彰しました。



橋梁模型製作コンテスト

10/30 [木] 10:30-12:30

会場製作部門 会場製作

10/31 [金] 10:00-12:00

会場製作部門・学生部門 載荷試験



技術・事業紹介等パネル展示

10/30 [木] 9:30-17:00

10/31 [金] 9:30-16:45

